

政策整理番号 7

### 評価シート(B)

対象年度	H16	作成部課室	総務部消防課	関係部課室	
------	-----	-------	--------	-------	--

政策番号	1-2-2	政策名	美しい県土の保全と災害に強い地域づくり
------	-------	-----	---------------------

施策番号	6	施策名	地震防災のために必要な施設、設備の整備
------	---	-----	---------------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効 **概ね有効** 課題有

【政策評価指標達成状況から】 判定不能  
 ・指標名:防火水槽設置数 達成度 ...  
 ・指標名:消防ポンプ自動車数 達成度 ...  
 ・(達成状況の背景)現況値が未確定のため,判定不能。  
 ・(達成度から見た有効性)現況値が未確定のため,判定不能。

【政策満足度から】 概ね有効  
 ・政策満足度は60点となっており,有効に機能していると考えられるが,過去4回において変動がない。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】 概ね有効  
 ・施策の有効性を示すデータはないが,国の地震調査委員会からは「宮城県沖地震の長期評価」において,2034年までに99%の確立で地震が発生する(H17.1.1現在)旨が発表されており,県民の関心度は高い。

【総括】  
 ・政策評価指標達成状況からは判定不能であるが,政策満足度は高く(60点),施策は概ね有効と判断できる。

### 施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	消防防災施設等整備費補助事業(防火水槽分)	6		
2	主	消防防災施設等整備費補助事業(消防ポンプ自動車分)	7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号,4号

**適切** 概ね適切 課題有

【国,市町村,民間団体との役割分担】 適切  
 ・(国)消防施設強化促進法に基づき市町村に対して,施設設備の整備補助を行う。  
 ・(県)国庫補助の採択漏れとなったものに対して,県単独補助を行う。  
 ・(市町村)国及び県からの補助を受けて,施設設備を整備する。  
 ・(民間団体)なし  
 ・本施策に係る事業群は,上記役割分担に沿って設定・実施されており県の関与は適切である。

【施策目的を踏まえた事業か】 適切  
 ・消防防災施設設備の整備は,多額の費用を要するため市町村が単独で行った場合には長い年数を要し,又は整備が行えないことが考えられるため,早期に整備するためには県と市町村が連携して整備を進める必要がある。

【事業間で重複や矛盾がないか】 適切  
 ・施策目的のための事業が適正に設置されており,重複や目的が矛盾する事業はない。

【社会経済情勢に適応した事業か】 適切  
 ・宮城県沖地震の発生が高い確率で予想されている中,地震に伴い発生する火災による被害を最小限に抑止するためには,今後も整備を継続する必要がある。

【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性) 適切  
 ・かい離は昨年度よりは縮小したものの依然高い水準にあり(30),早期整備が望まれる。

【総括】  
 ・施策目的,役割分担,事業体系,社会経済情勢,県民満足度調査の推移から判断して,本施策の事業設定は適切と判断できる。

# 評価シート(B)

政策整理番号 7

施策番号

6

施策名

地震防災のために必要な施設、設備の整備

## B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効

概ね有効

課題有

【施策満足度から】概ね有効

・施策満足度は昨年度より改善(50 56)しているものの、以前低い水準にある。施策重視度が高い(86)ことを考慮すれば、更に整備を促進すべきと思われる。

【政策評価指標達成状況から】判定不能 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋

・現況値が未確定のため、判定不能。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】概ね有効

・成果指標が未確定であり、また、他に施策の有効性を示すデータはないが、宮城県沖地震の発生確率が2034年までに99%と予想され、県民の関心度は高まっている中、概ね有効と判断できる。

【業績指標推移から】有効

・前年と比較して整備数は増加している。

【成果指標推移から】判定不能

・現況値が未確定のため、判定不能。

・火災による被害を最小限に食い止めるためには消防防災施設・設備の整備は必要不可欠であり、そのため国の事業を補完する県単独補助による施設・設備の整備は有効と認められる。

【総括】

・県民満足度は改善しているが、現況値が未確定であるため、この点からは判定は困難である。

・しかし、業績指標は施策目的と同方向に推移しており、事業群は概ね有効と判断する。

## B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的

概ね効率的

課題有

【施策満足度 業績指標・成果指標】概ね効率的

・成果指標が未確定であるが、業績指標は増加傾向にあり、施策満足度も前年に対し増加している(50 56)。

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】判定不能

・政策評価指標は今年度から変更・新規設定したものであり、また、成果指標も未確定であるため、判定が不可能である。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】概ね効率的

・成果指標が未確定であり、また、他に施策の有効性を示すデータはないが、宮城県沖地震の発生確率が2034年までに99%と予想され、県民の関心度は高まっている中、業績指標は昨年に比して増加している。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】概ね効率的

・防火水槽分についてはほぼ同等に推移している。

・消防ポンプ自動車分については、効率性指標はやや下落した。

これは、平成14年度までは国庫補助に対する嵩上げ補助(15%補助)と県単独補助(3分の1)を併せて行っていたのに対し、平成15年度からは国庫補助に対する嵩上げ補助を廃止して県単独補助のみとしたことによるもので、補助内容が変更されているため、単純な比較は困難である。

【総括】

・最終的な指標となる成果指標が未確定であるため、総合的な評価判定は困難であるが、県単独補助により市町村の整備促進意欲を高めることができたため、概ね効率的と判断できる。

## B 施策評価(総括):規則 § 6

適切

概ね適切

課題有

・事業群の設定は適切と判定でき、事業群の有効性、効率性も概ね効率的である。

・県民が、必要性を「非常に感じている」こと、施策重視度が高いことを考慮すると、今後も継続して整備促進することが必要である。

政策評価指標分析カード(整理番号1)

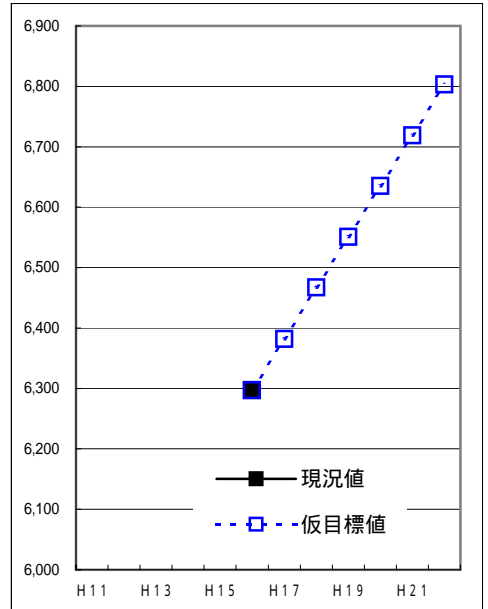
政策整理番号 7

対象年度	H16	作成部課室	総務部消防課	関係部課室	
政策番号	1-2-2	政策名	美しい国土の保全と災害に強い地域づくり		
施策番号	6	施策名	地震防災のために必要な施設、設備の整備		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位						
防火水槽設置数		基						
目標値	難易度	H17	6,467					
		H22	6,886					
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H15						H15	H16
現況値 (達成度判定値)	6,297						6,297	
仮目標値							6,297	6,382
達成度							...	...

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・震災発生時には消防水利としての防火水槽(耐震性貯水槽を含む)が被害の拡大を抑止するために特に重要とされるものであることから、市町村等における整備状況を示す指標として選定した。

(3) 施策満足度の推移

施策満足度 (単位:点)	年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	施策重視度 A		-		80	88	86					
施策満足度 B		-		55	50	56						
かい離 A-B		-		25	38	30						

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し	イ 達成度と施策満足度の推移の相関
達成度: ... ・当該指標に係る調査は3年ごとに実施されるため、現況値が未確定であり、判定不能。	判定: ... ・達成度が判定不能であり、相関の検証ができない。  相関の判定: (正の相関)、×(負の相関)、...(判定不能 満足度あるいは達成度の変動がない、または達成度が判定不能のため相関の検証ができない場合等)

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続

要検討

【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】  
 ・国から、市町村等における消防防災施設・設備の整備目標として「消防力の基準」が示されており、整備率はその達成率を示すものである。  
 ・当該調査は3年毎に調査が実施される(次回調査:平成18年度)ため、現在は検証不能となっているが、市町村等における整備率を示す指標としては適切と判断される。

政策評価指標分析カード(整理番号1)

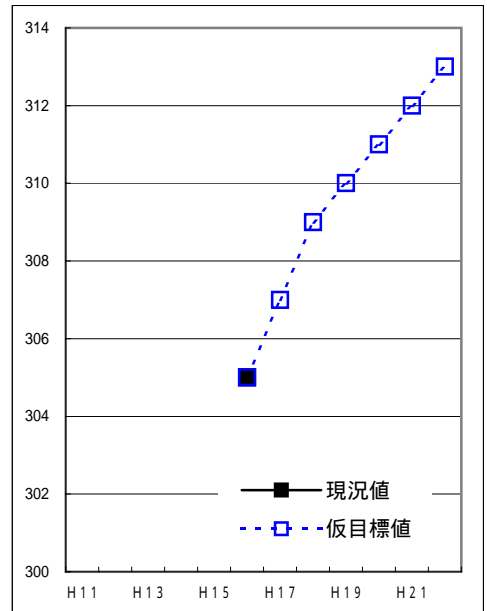
政策整理番号 7

対象年度	H16	作成部課室	総務部消防課	関係部課室	
政策番号	1-2-2	政策名	美しい国土の保全と災害に強い地域づくり		
施策番号	6	施策名	地震防災のために必要な施設、設備の整備		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位						
消防ポンプ自動車数		台						
目標値	難易度	H17	309					
		H22	313					
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H15						H15	H16
現況値 (達成度判定値)	305						305	
仮目標値							305	307
達成度							...	...

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・震災発生時には火災に対し直接消火にあたる消防ポンプ車の充実が被害の拡大を抑止するために特に重要とされるものであることから、市町村等における整備状況を示す指標として選定した。

(3) 施策満足度の推移

施策満足度 (単位:点)	年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	施策重視度 A		-		80	88	86					
施策満足度 B		-		55	50	56						
かい離 A-B		-		25	38	30						

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し	イ 達成度と施策満足度の推移の相関
達成度: ... ・当該指標に係る調査は3年ごとに実施されるため、現況値が未確定であり、判定不能。	判定: ... ・達成度が判定不能であり、相関の検証ができない。  相関の判定: (正の相関)、×(負の相関)、...(判定不能 満足度あるいは達成度の変動がない、または達成度が判定不能のため相関の検証ができない場合等)

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]  
 ・国から、市町村等における消防防災施設・設備の整備目標として「消防力の基準」が示されており、整備率はその達成率を示すものである。  
 ・当該調査は3年毎に調査が実施される(次回調査:平成18年度)ため、現在は検証不能となっているが、市町村等における整備率を示す指標としては適切と判断される。





